



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2021
2.28
No.80

CONTENTS

特集 介護報酬改定に見る
介護経営とリスクマネジメント

業務継続計画(BCP)を
介護経営にどう活かすか

2

●21世紀介護事業創造塾
セミナー開催
介護業界の変化に備える
力を養う

4

●合格者の声

5

●第5回「介護福祉のみらい」
作文コンクール
入選作品掲載

6

●今月の「介護ビジョン」
●介護福祉経営士試験の
ご案内

●INFORMATION

7

●イベント掲示板
●WEB説明会のご案内

8

特集

介護報酬改定に見る介護経営とリスクマネジメント
業務継続計画(BCP)を
介護経営にどう活かすか



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3553-2896 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階

業務継続計画（BCP）を 介護経営にどう活かすか

令和3年度の介護報酬改定において、「感染症や災害への対応力の強化」を目的とした事業所の運営基準の横断的な見直しが図られた。具体的には有事に備えるための業務継続計画（BCP）の策定と、シミュレーション（訓練）や研修の実施が全ての事業所において義務化される。特に業務継続計画（BCP）については自施設の地域性や事業規模、組織形態などによって独自の計画を立案する必要があり、3年間の経過措置の間に対応準備を進めることが大きなポイントとなる。本特集では業務継続計画（BCP）策定のポイントと今後の介護経営における活かし方について紹介する。

業務継続計画（BCP） 策定義務化の背景

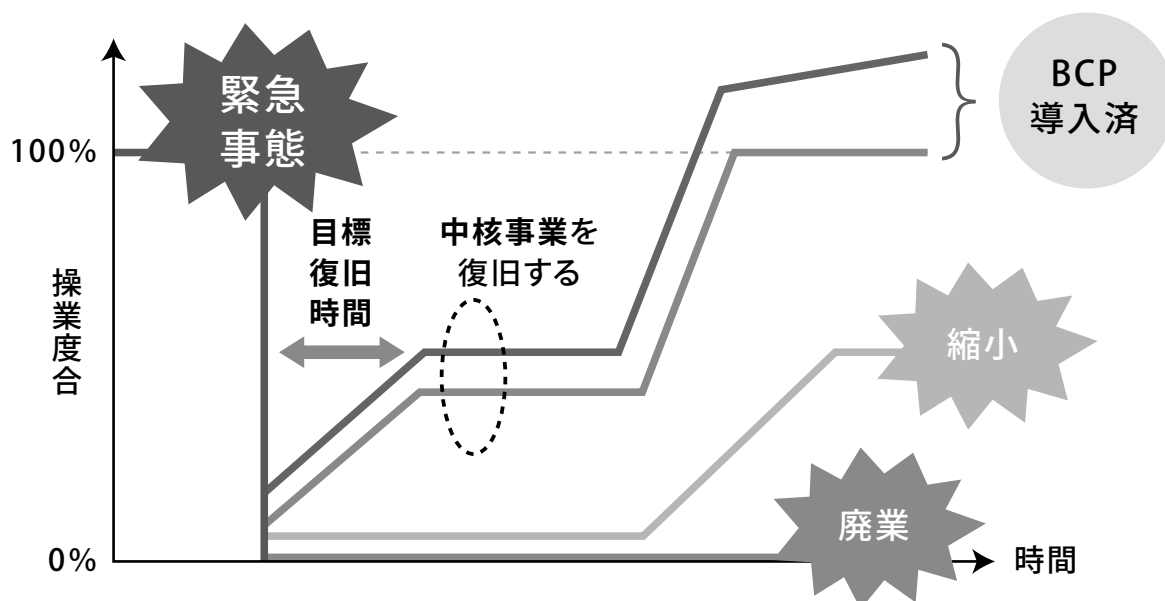
業務継続計画＝BCP（Business Continuity Plan）とは、災害など不測の緊急事態が生じた場合に、事業を継続するための計画を指す。防災が自然災害による人命・財産等への被害を可能な限り防ぐことを目的とするのに対し、BCPでは実際に不測の事態による被害が生じた場合にいかに事業を速やかに再開、継続

するかという点に重点がおかれている。すなわち、人命・財産だけではなく、関連する利害関係者の不利益を最小限に抑えるためのリスクマネジメントとしての意味合いが強い。

今回このBCPが介護報酬改定において取り入れられることとなった背景には、近年頻発する台風や地震等の自然災害に加え、新型コロナウイルス感染症の存在がある。

介護事業所を利用者およびその家族の生活を支え

■イメージ図：BCP導入によって災害時に計画的に事業を復旧する



出典：中小企業BCP（事業継続計画）ガイド（中小企業庁）

る重要なインフラとして位置づけ、非常時においても早急にサービスを再開・継続することができる仕組みづくりが重要な課題として認識されたとも言える。

BCPの概念自体は元々、東日本大震災以降、中小企業庁が主導となって推進してきたものだが、今回は厚生労働省から感染症(新型コロナウイルス)対策BCP、自然災害対策BCPのそれぞれのガイドラインと様式のひな形が公表されている。

例として感染症(新型コロナウイルス)対策ガイドラインに掲載されている「BCP策定において具体的に検討すべき対応事項」を次に掲載する。

■感染症(コロナウイルス)対策BCPの対応事項

No.	対応事項
1	推進体制の構成メンバー
2	施設・事業所外の連絡リスト
3	職員、入所者・利用者の体温・体調チェックリスト
4	感染(疑い)者・濃厚接触(疑い)者の管理リスト
5	職員緊急連絡網(部署ごと)
6	備蓄品リスト
7	業務分類(優先業務の選定)
8	来所立ち入り時体温チェックリスト

※出典 感染症発生時の業務継続ガイドライン(厚生労働省老健局)

上記の項目を必要最低限の項目とし、施設ごとに具体的な対応策を検討・策定するよう推奨されており、BCP策定のポイントとして以下の5つが挙げられている。

- 1) 施設・事業所内を含めた関係者との情報共有と役割分担、判断ができる体制の構築
- 2) 感染(疑い)者が発生した場合の対応
- 3) 職員確保
- 4) 業務の優先順位の整理
- 5) 計画を実行できるよう普段からの周知、研修、訓練

また、ガイドラインでは新型コロナウイルス感染(疑い)者発生時の対応等について、入所、通所、訪問それぞれのサービスに分けて記載されており、フローチャートや図解などを用いて詳しく解説されている。

今後、介護事業者はこうした資料などをもとにBCPの策定に臨むこととなるわけであるが、果たしてスムーズに対応ができるのだろうか。

ここからは介護報酬改定について多くの講演実績を持つとともに、介護福祉経営士テキスト(株式会社日本医療企画発行)の著者でもある小濱道博氏のメッセージを紹介する。

Message

BCPを経営改善のチャンスに



小濱 道博氏

小濱介護経営事務所代表
一般社団法人日本介護経営研究協会
専務理事(NKK)

今回の報酬改定については、全体的に事務負担が増大している印象をもっています。特に全サービスにBCPの策定が義務化されたことについては、行政側が急ぎすぎているような印象を受けています。

そもそも多くの介護事業所にとってはBCPという言葉になじみがないというのが現状ではないでしょうか。

そのため、「さあ作ってください」と言われてすぐに作れるといった状況ではないと思われます。

BCPはどこかの施設がつくった計画をそのまま自施設に当てはめておしまい、といった類のものではありません。例えば河川の近くにある事業所であれば洪水などのリスクを考慮せねばなりませんし、事業規模によっても想定すべきことが変わってきます。極端な話でいえば大規模事業所と一人のケアマネで運営している居宅支援事業所では想定すべきことや対応すべきことは全く違ってきます。

作成にあたっての一つの手段として、コンサルタントに委託するというのも考えられますが、ある程度の費用が掛かるうえ、介護業界の制度や風土に精通したコンサルタントでなければ、適切な計画を策定することは難しいでしょう。

こうした点から考えると、今後介護福祉事業者向けのBCPに関する研修や、セミナーなどのニーズが高まってくることが予想されます。

また、BCPを作成するプロセスは経営計画を策定するプロセスとほぼ同じ流れとなるため、経営計画の策定に精通しており、各現場サイドでの現状の情報を持ち寄り、それを分析、まとめていくといった経験が豊富な人材が今後キーマンとなってくると思います。

ただ、経営計画でもよくある話なのですが、経営層なり、コンサルタントなりが作成した計画書があることで安心してしまい、机の中に入れて1年間見ない、といった状態に陥ってしまう可能性がある点には注意が必要です。

制度的に作成の義務があるからBCPを作った、実地指導の時に求められたときに見せればいい。そのような扱いではいざ災害が起きた時には存在すら忘れられているという事態を招きかねません。

そうしたことを避けるためにも、今後はBCPで策定した内容を事業所内においてどう意識付けていくかについても考えていく必要があり、今回の報酬改定に計画を作った後の研修や訓練のプロセスが組み込まれているのもそのためです。

そしてこうした意識付けは経営面での一つのきっかけにもなるはずですが、

職員にしっかりとBCPについて考えさせる環境をつくることで、情報の共有や、業務の効率化につなげることや、自組織が非常時の備えをしっかりと行っていることを認識してもらうことで、帰属意識の向上も期待できるでしょう。

職員全員がBCPに対して経営の視点で向き合うことができるかが重要なポイントになってくると思います。

加えて、BCPは常に見直ししながら修正していく必要があります。そうした際に重要となってくるのが情報収集ができる環境の整備です。他施設の導入の状況をはじめ、実際に被災された施設などからの情報などを活かしていくことができれば、より具体的なイメージをもってBCP作成・活用に取り組んでいくことができます。

今のところ優先すべきはBCPの作成の流れについての理解や、手法といったものへの学びですが、ぜひその先を見据えた学びの姿勢を意識して実践していただきたいとします。

また、介護福祉経営士の方々も今後BCPにかかわる場面が増えてくると思いますので、研究会をはじめとした学びや情報収集の場に積極的に参加していただき、BCPの作成だけでなく、介護経営に活かすためのノウハウの構築を進めていっていただきたいとします。

21世紀介護事業創造塾 セミナー開催

介護業界の変化に備える力を養う

株式会社日本医療企画が主催する21世紀介護事業創造塾は1月15日(金)にセミナーを開催。「介護報酬改定対策とBCP」をテーマに3名の講師から情報発信が行われた。

1人目の講師である小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表、一般社団法人日本介護経営研究協会専務理事(NKK))からは最新の介護報酬改定についての解説が行われた。

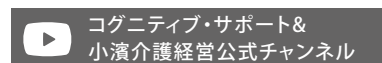
小濱氏は今回の改定における業務継続計画(BCP)の策定義務化について介護事業所にとって大きな課題となると述べたほか、今回の改定は3年後の改定へ向けての布石が多く盛り込まれているとの印象を語った。特にその最たるものとしてVISIT及びCHASEへの対応を挙げ、行政が科学的介護にシフトしたことを意味していると結論付けた。

2人目の講師である小林香織氏(一般社団法人コグニティブサポート代表理事、コグニティブ・サポート・グループ代表)は、非常時における職員のストレスマネジメントについて解説。被災時に生じる惨事ストレスをいかにBCPに反映していくかが重要であると述べた。惨事ストレスに関する職員への事前教育を行うほか、非常時に職員の活動時間や休息時間をコントロールできる仕組み(ルール)づくり、相談体制の確立などの被災後を想定した対策の準備などが求められると語った。

3人目の講師には神内秀之介氏(ふくしのよろずや神内商店合同会社代表、介護福祉経営士1級)を迎え、介護報酬改定や制度改正が今後どのような方向に向かうのかについての解説が行われた。

神内氏は介護業界の変遷を振り返ったうえで、これまで人的サービス至上主義であり、属人的、煩雑な側面を持っていた介護サービスにおいて、今後ICTソリューションの導入によって定量的データの収集等による質の向上や、省力化・効率化による業務負荷の軽減、業界イメージ刷新による新イメージの構築などの変化が起きることが期待できると述べた。その上で新しい方法や道具(ツール)の導入にあたっては必ず一度効率性や生産性が落ちるということを理解しておき、変化を途中で止めないことが重要であると語った。

21世紀介護事業創造塾の研究会及びセミナーの様子はYoutubeの下記チャンネルにて公開しています。



<https://www.youtube.com/channel/UC2aUk38CAGQe0HgWYm6HOpQ>





介護事業者の理念の実現のためのサポートをして行きたい

大谷 晃士 ●おおたに・こうじ

大谷公認会計士事務所 所長
介護福祉経営士1級試験合格/公認会計士/税理士

私が介護業界にかかわるようになったのは以前勤めていた会計事務所、介護をはじめとする社会福祉法人の担当についてがきっかけです。社会福祉法人の会計基準や介護保険の制度などについて学びながら業務をこなしていくうちに、自然と事務所内の社会福祉法人の業務が全て私のところへ集まるようになりました。

その後、独立開業するにあたり、自分の強みやどんな分野で貢献していきたいかを考えた時、これまで財政難や人材不足に悩む事業者と数多く接した経験に思い至り、介護福祉に関わる事業者の支援を中心に事業を展開していく道を自然と選びました。

実際に事業を展開していくと、介護福祉に精通した会計事務所というものは予想以上に数が少ないようで、インターネットでの検索結果の上位に事務所名が掲載されるようになり、現在はインターネット経由での事業者からのお声掛けが増えつつある状況です。

介護福祉経営士を取得することを決めたのは、介護福祉事業者への経営支援を目指すにあたって、会計士としての「経営」だけではなく、介護福祉の観点から見た「経営」というものについて体系的に学ぶ機会が欲しいと考えていたからです。

実際に学習を進めてみると、あまりなじみのない分野は2割程度でした。残りの8割は一度どこかで見たり、学んだりしたことのある内容でしたので、復習としての意味合いが強かったように感じています。

ただ、前者の2割の中では、マネジメントの概念について良い学びが得られたと思います。

一般的には「仕事の効率性向上」や「業務の成果の創出」を重視しますが、介護福祉のマネジメントでは「利用者

本人と家族の安心」や「利用者や家族との信頼関係の構築」をより重視している点に特徴があります。私は民間会社にいた経験から、合理化や効率化などを推奨し、経済的合理性を重視するスタンスを持っていたため、利用者やその家族の支援についての観点と、どうバランスを取っていくかということについて、とても参考になりました。

介護をはじめとする福祉の現場の皆さんの理念は時にとても壮大です。しかし、それを実現していくリソースが足りていないケースも少なくありません。

目標は当然大きなものでいいのですが、その目標に着実にステップアップして近づいていけるように客観的な意見や助言を提供することが自分の役割なのではないかと感じています。

現在、介護業界における会計事務所の役割は会計指導や、税務申告のサポートなどが主ですが、近年はITの利用などでかなり効率化が進んできており、ある意味で低価格競争になりつつあります。

そうした中で、これからは会計事務所としても何か特色のある付加価値を提供していかなければなりません。

今後は介護福祉経営士としての資格を活かしながら介護福祉分野のコンサルティングと会計税務のサポート体制をより強化していきたいと考えています。

現在コロナ禍において苦境に立たされている介護事業者も多いでしょう。しかし、介護サービスの担い手がいなくなってしまうと困る方が大勢います。重要なサービスの担い手としてどうか踏ん張っていただいて、コロナ後を見据えた体制作りをしていただきたいと思います。そしてそのための支援を他の介護福祉経営士の皆さんと共にやっていきたいと考えています。

介護福祉経営士テキストのご案内

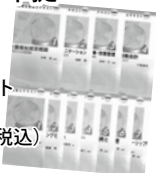
介護福祉経営士テキストシリーズは、「介護福祉経営士」の試験科目に対応しています。

「介護福祉経営士2級資格認定試験対策 — 合格サポートブック —」がもらえる!!

介護福祉経営士テキストのご案内

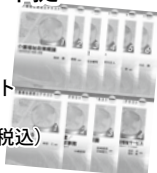
介護福祉経営士
1級試験 準拠

実践編
全11巻セット
特別価格:
26,190円(税込)



介護福祉経営士
2級試験 準拠

基礎編
全10巻セット
特別価格:
24,100円(税込)



「合格サポートブック」とは

- 「介護福祉経営士テキスト」基礎編(10巻)各巻の重要ポイントの解説を掲載
 - 予想問題を掲載
 - 第1回「介護福祉経営士2級」資格認定試験で実際に出題された問題を一部掲載。
- ※解説は(株)日本医療企画によるものです。

※株式会社日本医療企画へ直接申し込みされた場合の価格となります。

テキストのお申し込み、お問い合わせは株式会社日本医療企画ホームページへ
▶<http://www.jmp.co.jp/>



vol.2

第5回「介護福祉のみらい」作文コンクール 入選作品掲載

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生が、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する場として、2020年に第5回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施。全国から寄せられた551編から黒澤貞夫審査委員長（一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事）のもと厳正な審査が行われた。以下に入選作品を紹介する。

佳作

「福祉とは」

てつか あかね
手塚 茜さん

（兵庫県立日高高等学校 福祉科 3年）

私は、高齢者の方とコミュニケーションをとることが苦手です。何を話せば良いのか、どういう風に話しかければ良いのかがわからず毎回、言葉が詰まってしまいます。私が特別養護老人ホームで関わったのは、重度の認知症の方でした。初めは、どう話をすればいいのかわからず、ただその方の隣に座るだけでした。そんな私を見て職員の方が「利用者の手を握ったり体に手を添えるだけでもいいんだよ」と私に言ってくださいました。私が利用者の方の手を握ると、その方は私の手の上から自分の手を添えてくださいました。そのとき私は初めて非言語コミュニケーションの大切さに気がつくことができ、とても嬉しかったです。また、その方の昔にやっていた仕事や趣味を知ることによって会話の幅が増えスムーズに話すことができ、利用者の方は昔のことを思い出し楽しそうに話している姿を見ることができました。コミュニケーションをしていく内に、その方が感じている不安なことや心配なことを少しずつですが聞き出すことができました。前まで私は、コミュニケーションが苦手な出来ればしたくないという思いが強かったです。ですが、コミュニケーションは相手との信頼関係を築いていき、さらにその方の情報をたくさん知ることができるコミュニケーションは、とても大切で面白いと感じるようになりました。これからも多くの高齢者の方と関わりコミュニケーション能力を高めていきたいです。

私は、これまでと変化したことが3つあります。

1つ目は、高齢者の方と関わるのが好きになりました。今

までは、どちらかというと苦手で、どのようにして関わればよいかわかりませんでした。しかし、利用者の方が私を見て笑顔になったり、聞いたことのない昔の話を聞くことができて面白いです。そんな知らなかったことを、たくさん知ることができるのがとても嬉しいです。

2つ目は、信頼関係を築くことの大切さです。利用者の方と信頼関係を築いていくことで、介助のときに利用者の方が安心したり恐怖心の軽減に繋がると思います。信頼されるというのは難しいことですが少しずつ自分から積極的に利用者の方に関わりたいです。

3つ目は、命に関わる仕事をするに責任感を持つことです。どんな場面でも利用者の方の安全を第一に考え、その人らしい生き方を大切にすること、そして自分自身の一つひとつの行動や言語に責任を持つことの重要性を考えるようになりました。その他にも多く変化したことはありますが、この3つのことは普段の生活でも生かされてくると思います。そのため普段から気をつけて生活していきたいです。

私にとって福祉とは、大変で難しい仕事だと思います。しかしその分、高齢者の方の笑顔やできなかったことができるようになった瞬間、利用者の方の喜びや人生に携われることのできる、とてもやりがいのある仕事だと思います。

これから私はもっと多くの知識や技術を身につけて利用者の方をたくさん笑顔にできる介護福祉士になれるよう頑張りたいです。そして多くの方に関わり将来に生かしたいです。



手塚 茜さん

審査委員長のコメント

コミュニケーションについてここまで学びを深めていることに感銘を受けました。通常コミュニケーションについては情報の交換という理解で止まってしまうことが多いのですが、この作品ではもう一步踏み込んだところまで書かれています。また、実習での体験を自分なりに分析し、高齢者との関わり方に対する心境の変化、信頼関係の重要性への気づき、命にかかわる仕事への責任感の自覚という3つに分けてしっかりとまとめている点も大変良い点だと思います。

地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

死に方ではなく生き方 介護がめざす「看取り」とは

「看取り」という言葉が介護の現場でも当たり前のように聞かれる時代になっている。

その一方で、人の最期を支えるということに対し、及び腰になる面があることも否定できない。

なぜ、今介護の現場で「看取る」ことが求められているのか、そもそも「看取り」とは一体何をすることなのかを、多様な視点で見ていく。

解説 意識・制度が変われば看取りは身近になる
山崎章郎氏 (在宅緩和ケア充実診療所ケアタウン小平クリニック院長)

対談 「看取り」は日常ケアの延長瞬間ではなく面で支える
菊地雅洋氏 (北海道介護福祉道場あかい花代表)
吉田豊美氏 (株式会社シーユーシー・ホスピス代表取締役社長)

Case study
生き続ける時間を支えるその結果が看取りになる
社会福祉法人 福岡ひかり福祉会

特集連動企画
映画「痛くない死に方」特別座談会

2021年3月号

(2021年
2月20日発売)



詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円 (税込)
- 定期購読料: 15,552円 (税込)
- ※ 会員価格は12,444円 (税込)

第2特集

投資の専門家が考える 「これから」来る介護関連サービス

緊急特別鼎談

2021年度介護報酬改定はこう乗り越えろ!

「介護福祉経営士」 資格認定試験のご案内

全国200会場で、受りたい日時に受験が可能 その場で合否が判定されます!

「介護福祉経営士」資格認定試験は、CBT方式で実施しています。

試験会場は全国約200会場から選ぶことができ、自分の予定に合った日程、時間に受験することができます。これにより、より多くの方々に受験機会が広がり、介護福祉業界のマネジメント人材として活躍していただけるよう、受験しやすく役に立つ教育システムとして進化しています。

受験方法や受験申込については、本会ホームページ (<http://www.nkfk.jp/>) にてご確認ください。

CBT方式とは……

CBTとはComputer Based Testingの略称で、問題用紙やマークシートなどの紙を使わず、パソコンで受験する方式のテストです。特定の受験日に一斉実施する紙ベースの試験とは異なり、全国の会場にて随時(毎日*)受験が可能となります。受験者は、会場と日程をWeb上で予約し、当日は会場のパソコンで受験します。

※年末年始を除く。試験会場によって異なります。【ご注意】新型コロナウイルス感染症の影響により、使用できる会場に制限が生じる場合があります。

KFK INFORMATION

新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大に伴う試験の実施状況について

「介護福祉経営士」資格認定試験は試験サービスの提供先であるJ-Testingと連携し、会場において下記の感染防止措置を取ったうえで実施しております。

- ・会場の受付担当者、試験監督者のマスク着用徹底
- ・受験に使用する机、PC等の清掃・除菌の徹底
- ・定期的な換気の実施

また、受験にあたってはマスクの着用が必須となります。

なお、体調不良の場合や職場やご家族で感染またはその疑いが出た場合など、新型コロナウイルス (COVID-19) に関する影響で受験ができない方は、試験日程変更期間(試験日の3営業日前まで)を過ぎた場合でも、可能な限り早い段階でJ-Testingヘルプデスクまでご連絡ください。

J-Testing お問い合わせページ▶ <http://j-testing.jp/cbt/contact.html>

株式会社日本医療企画

医療・介護事業経営WEBセミナー2021 2021年度介護報酬改定ポイント解説講座 ～激変する介護保険制度の動向と生き残り戦略～

2021年度介護報酬改定は、コロナ禍への考慮から改定率がプラス0.70%となった。また、特定処遇改善加算の柔軟化、自立支援・重度化防止への取り組みの推進なども織り込まれ、加算の単位数や要件をしっかりと理解することが安定経営のカギとなる。本セミナーでは、激変する医療・介護保険制度の動向を検証しながら、地域包括ケア時代が求める医療・介護事業経営とは何かを探っていく。

講演 ウィズコロナ・ポストコロナの介護報酬改定と事業経営

- 日時:2021年3月20日(祝・土) 13:30~15:30
- 講師:青木正人氏(株式会社ウエルビー代表取締役)
- 開催方法:オンライン(Zoomによるライブ配信)
- 参加費:無料
- 定員:300名
- 共催:大和ハウス工業株式会社
- お申込み:<http://www.jmp.co.jp/seminar/kansai/kaitei2021/>

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL:06-7660-1761

一般社団法人福祉経営研究機構

全国社会福祉法人経営者協議会 宮田講師登壇セミナー 『社会福祉法人の事業展開の今後』

第一部(45分)社会福祉法人の事業展開の今後

- 講師:宮田裕司氏(全国社会福祉法人経営者協議会 地域共生社会推進委員長 社会福祉法人堺暁福祉会 理事)

第二部(45分)質疑応答(申込時に送付した質問事項についてQ&A形式で回答)

- 回答者:宮田裕司氏(全国社会福祉法人経営者協議会 地域共生社会推進委員長 社会福祉法人堺暁福祉会 理事)
- 聞き手:菊池典明氏(社・本郷 税理士法人)

- 日時:①3月15日(月) ②3月16日(火) ③3月17日(水) ④3月18日(木)
各日とも13:00~14:30(90分)

- 開催方法:オンライン
- 参加費:3,000円(税込)
- お申込み:

<https://v2.nex-pro.com/campaign/20219/apply>
※お申込期限は3月8日(月)13:00まで

お問い合わせ 一般社団法人 福祉経営研究機構 セミナー事務局
TEL:03-6864-0400

一般財団法人オレンジクロス

看護・介護エピソードコンテスト 第7回テーマ【伝えたい!わたしの看護・介護エピソード】

喜びを感じたエピソード・やりがいを見出したエピソード・感動を覚えたエピソードなどあなたが体験した看護・介護でのエピソードを募集。

- 応募期間:2021年2月1日(月)~5月6日(木)(郵送の場合は当日の消印有効)
- 字数・書式等:400字以上2400字以内、A4横書き、Word形式(手書不可)
- 応募資格:
日本国内で看護・介護に携わっている方(ご家族等の看護・介護をされている個人、職業で看護・介護をされている方を問いません)
- 応募エピソード:
日本国内で看護・介護に携わっている方が喜びを感じたエピソード・やりがいを見出したエピソード・感動を覚えたエピソードなど実際に体験した看護・介護のエピソード
- 応募方法
①メールの場合
Info@orangecross.or.jpまで 件名「看護・介護エピソードコンテスト」
②郵送の場合
〒104-0031 東京都中央区京橋2-12-11杉山ビル6F
一般財団法人オレンジクロス「看護・介護エピソードコンテスト係」宛

お問い合わせ 一般財団法人オレンジクロス
「看護・介護エピソードコンテスト係」
TEL:03-6228-7216 メール:info@orangecross.or.jp
※メールによる問い合わせを推奨

日本ヘルスケア経営学院

2021年度 介護報酬改定 重要ポイント徹底解説 【WEBセミナー】

社会保障審議会介護給付費分科会委員でもある日本医師会常任理事の江澤和彦氏が改定の背景や目的を踏まえつつ各サービスごとの基準と報酬を解説。2021年度介護報酬改定の全容がわかる140分!

- 日時:2021年1月29日(金)~6月30日(水)(視聴期間20日間)
- 講義時間:全140分(全6動画) ※オンライン視聴
- 講師:江澤和彦氏(公益社団法人日本医師会常任理事、社会保障審議会介護給付費分科会委員)

- 参加料:8,000円(税別)
- お申込み:

https://hcmi-s.net/weblesson-hcm/webseminner_2021_kaigo/

お問い合わせ 日本ヘルスケア経営学院 事務局
(株)日本医療企画内)
TEL:03-3553-2862

介護福祉経営士 WEB説明会のご案内

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会では、WEB上での説明会を行っています。

これまで、当協会では介護福祉経営士の受験を検討する法人などを直接訪問し「出前説明会」を開催してきましたが、今後はWEBも活用しながら介護福祉経営士の普及に努めてまいります。

「介護福祉経営士」について、資格取得のメリットや勉強方法など様々な情報を距離・場所の制約なく入手いただける機会となりますので、ぜひご活用ください。

お申し込みは当協会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/demae.html>)より承っております。

